

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホームあしたば	階数	地上4F
建設地	神奈川県平塚市真田二丁目7-1	構造	S造
用途地域	第一種低層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	114人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年12月 予定	評価の実施日	2016年8月1日
敷地面積	2,503 m <sup>2</sup>	作成者	㈱田中建築事務所
建築面積	1,449 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	4,673 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 本敷地は、緩やかな坂に面した敷地であり、境界線に沿って法面があります。既存の法面を利用した緑地帯を配し、敷地形状を極力活かした配置としました。 また、照明・空調計画において高効率機器を採用するなど省エネルギー化に配慮した計画としました。	<b>その他</b>	
<b>Q1 室内環境</b> 光庭を設けることにより、採光や換気など室内環境の向上を図りました。	<b>Q2 サービス性能</b> 入所者の居室はすべて個室とし、居室・宿泊部分面積も内法10.65㎡以上確保しています。また、共同生活室は内法24.60㎡以上とし一人当たり2.50㎡以上確保しています。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 壁面後退することにより、近隣住宅との離隔距離を十分確保した建物になっています。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明を採用するなど省エネルギーに配慮した設計となっています。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ホルムアルデヒドを含まない材料を多用し環境にやさしい建物とします。節水コマや節水型便器により節水を図ります。	<b>LR3 敷地外環境</b> 駐車場は、敷地内の4台と近隣敷地に十分確保し、交通負荷を抑制しました。また、自転車置場も設置し自動車以外の通勤も可能としました。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される